

# JR四国労組 自動車支部ニュース

2023年11月13日（No.6）

発行責任者／大谷 清

編集責任者／中村 鉄平

## 2023年度第2四半期決算概況発表 コロナ禍を乗り越え4期ぶりの黒字決算！

JR四国労組は、10月25日に開催された経営協議会において「2023年度中間決算概況」について説明を受けた。（別紙参照）

2023年度は最大の使命である安全・安心輸送の確立に向け、全従業員がプロ意識に徹し、お客様に安心してご乗車いただける体制づくりに取り組んできたほか、感染症の影響による赤字基調から脱却するため、経営体質の改善に努めてきた。

基幹部門である高速バスにおいては、一部運休等を継続している路線があるものの、人流が次第に回復するなか、お客様にご利用いただきやすい運行ダイヤを設定するとともに効率的な運行体制とすることを目的として、高松エクスプレス大阪号をはじめ7路線でダイヤ改正を実施した。また、お客様の利用促進施策として、当期に運行開始からの周年記念日を迎えた「阿波エクスプレス大阪号・神戸号」等において、お得にご利用いただける割引乗車券を発売するなどの記念キャンペーンを実施したほか、「なんごくエクスプレス号」、「ドリーム阿南・徳島号」において運賃改定を実施し収入の確保に努めた。一方、ローカルバス路線では、「1日フリーパス」等を販売するなど利用促進と利便性の向上に努めた。

経費面では、効率的な業務運営や全社的な物件費の削減に取り組んだが、運行便数の増加に伴う諸経費や営業用車両の老朽化による修繕費が増加した

以上の結果、当事業年度の業績は売上1,396百万円（対前期比138.0%）、営業利益60百万円（対前期290百万円改善）、経常利益81百万円（対前期245百万円改善）となり、法人税等を差し引いた中間純利益は39百万円（対前期175百万円改善）となった。

対処すべき課題として「安全・安心輸送の確立に向けた取り組みの強化」には、当期において安全・安心輸送の根幹を揺るがしかねない重大な事象を発生させたことを重く受け止め、再発防止策の確実な実践に努める。あわせて、安全意識を持つことの重要性についての指導教育や実効性の高い研修・訓練の実施に継続して取り組むほか、安全運行に必要な環境の整備と従業員自らが事故防止について考え取り組むことができる職場風土の醸成に努める。

「経営体質の改善」には、高速バス部門では運行便数でコロナ禍前の概ね77%まで運行体制を戻してきものの、当期のご利用状況の推移からすると現状からの大幅な回復は見通せない状況であることから、当面はご利用動向に合わせた適切な運行設定や利用促進施策に取り組み、乗車効率の改善による収入の回復・拡大に努める。経費の削減については、安全の維持・確保に影響しない物件費を中心に、強力に推進するとともに、特に乗務員以外の職種の業務運営は、省力化・省人化の推進を基本方針として、効率化と適正な要員配置を目指す。

等の決算概況及び今後の計画について説明を受けた。

以 上

## 2023年度第2四半期決算概況について

2023年10月  
ジェイアール四国バス株式会社

2023年度第2四半期決算（期間2023年4月1日から2023年9月30日まで）の概況について、お知らせします。

### 1 事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国の経済について、政府の9月発表の月例経済報告によると、先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとされています。

このような状況の下、当社は最大の使命である安全・安心輸送の確立に向け、全従業員がプロ意識に徹し、お客様に安心してご乗車いただける体制づくりに取り組んできたほか、感染症の影響による赤字基調から脱却するため、経営体質の改善に努めて参りました。

基幹部門である高速バスにおいては、引き続き一部において運休等を継続している路線があるものの、人流が次第に回復するなか、お客様にご利用いただきやすい運行ダイヤを設定するとともに効率的な運行体制とすることを目的として、高松エクスプレス大阪号をはじめ7路線でダイヤ改正を実施しました。

また、お客様の利用促進施策として、当期に運行開始からの周年記念日を迎えた「阿波エクスプレス大阪号・神戸号」（25周年）、「オリーブ松山号」（25周年）及び「松山エクスプレス号」（20周年）において、お得にご利用いただける割引乗車券を発売するなどの記念キャンペーンを実施したほか、前期に引き続き四国内の高速バス会社6社共同による「ハイウェイバスフリーパス」を乗り放題となる日数を選べる商品として発売し、ご利用の回復が振るわなかった四国内発着路線のご利用拡大に取り組みました。

さらには、増大する運行経費に対応するため、前期に実施した12路線に加え、「なんごくエクスプレス号」、「ドリーム阿南・徳島号」において運賃改定を実施し収入の確保に努めました。

これらにより、当期の共同運行会社を含む運行便数は、59,813便（対前期比103.8%）輸送人員は957,327人（対前期比132.0%）となり、当社の運輸収入は1,324百万円（対前期比139.9%）となりました。

一方、ローカルバス路線では、久万高原線と大栃線において「1日フリーパス」、Webサイトで購入しスマホで利用できる「1日フリーパス5枚回数券」を引き続き販売するなど利用促進と利便性の向上に努め、当期の輸送人員は99,001人（対前期比109.5%）、運輸収入は32百万円（対前期比117.0%）となりました。

経費面では、効率的な業務運営や全社的な物件費の削減に取り組みましたが、運行便数の

増加に伴う諸経費や営業用車両の老朽化による修繕費が増加しました。

以上の結果、当期の業績は売上高1,396百万円（対前期比138.0%）、営業利益60百万円（対前期290百万円の増加）、経常利益81百万円（対前期245百万円の増加）となり、法人税等を加味した中間純利益は39百万円（対前期175百万円の増加）となりました。

## 2 当社が対処すべき課題

### (1) 安全・安心輸送の確立に向けた取り組みの強化

当期において安全・安心輸送の根幹を揺るがしかねない重大な事象を発生させたことを重く受け止め、再発防止策の確実な実践に努めます。合わせて、全社的な安全意識の更なる高揚を図ることを目的に、乗務員や運行管理者を中心に安全意識を持つことの重要性についての指導教育や実効性の高い研修・訓練の実施に継続して取り組むほか、安全運行に必要な環境の整備と従業員自らが事故防止について考え取り組むことができる職場風土の醸成に努めます。

### (2) 経営体質の改善

高速バス部門ではコロナ禍による多くの運休・減便から、当期においては運行便数でコロナ禍前の概ね77%まで運行体制を戻してきました。しかしながら、当期のご利用状況の推移からすると現状からの大幅な回復は見通せない状況であることから、当面はご利用動向に合わせた適切な運行設定や利用促進施策に取り組み、乗車効率の改善による収入の回復・拡大に努めることとします。また、ローカルバス部門では、引き続き地元自治体等との連携を深め、生活路線補助金の支援を受けながら、お客様の利便性向上に努めるとともに、ご利用を喚起できる施策を検討します。

経費の削減については、安全の維持・確保に影響しない物件費を中心に、強力に推進するとともに、特に乗務員以外の職種の業務運営は、省力化・省人化の推進を基本方針として、引き続き効率化と適正な要員配置を目指します。

以上により、直面する課題として、安全・安心輸送を実現するための徹底した取り組みを継続しつつ、安定的に利益を計上できる経営体質への改善を図り、四国に根ざした基幹的公共交通機関としての企業価値を高め、将来にわたり信頼され必要とされる企業となることに全社一丸となって取り組みます。

## 3 設備投資の状況

当期中に実施した設備投資総額は1百万円であり、内容は次のとおりであります。

- ・ 高速バスネット端末新設（松山、高知） 2台 1百万円

# 2023年度 第2四半期決算について

## 1. 比較損益計算書

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 科 目         | 2022年度<br>第2四半期<br>A | 2023年度<br>第2四半期<br>B | 増減額<br>B-A | 比率(%)<br>B/A | 主 な 増 減 事 由 等                           |
|-------------|----------------------|----------------------|------------|--------------|-----------------------------------------|
| 営 業 収 益     | 1,011                | 1,396                | 384        | 138.0        |                                         |
| 旅 客 運 輸 収 入 | 973                  | 1,356                | 382        | 139.2        |                                         |
| 高 速 収 入     | 946                  | 1,324                | 377        | 139.9        | 京阪神便 254、島内 68、夜行便 28、<br>広島便 17、岡山便 10 |
| ロ ー カ ル 収 入 | 27                   | 32                   | 4          | 117.0        |                                         |
| そ の 他 収 入   | 37                   | 39                   | 2          | 106.1        | 発売手数料 4、駐車場収入等 1、施設相互使用収入 △3            |
| 営 業 費 用     | 1,240                | 1,335                | 94         | 107.6        |                                         |
| 人 件 費       | 462                  | 542                  | 80         | 117.4        | 人単差 30、賞与・賞与引当 50                       |
| 動 力 費       | 187                  | 178                  | △ 9        | 95.1         | 軽油価格の単価差 △25(@141.38→@123.71) 業務量差等 16  |
| 業 務 費       | 384                  | 421                  | 37         | 109.6        | 道路使用料 10、発売手数料 21、施設使用料等 6              |
| 修 繕 費       | 69                   | 93                   | 24         | 134.4        | 車両の修繕波動等 24                             |
| 諸 税         | 7                    | 8                    | 0          | 109.3        |                                         |
| 減 価 償 却 費   | 128                  | 89                   | △ 39       | 69.5         | 営業用自動車償却費の減等△39                         |
| 営 業 損 益     | △ 229                | 60                   | 290        | —            |                                         |
| 営 業 外 損 益   | 65                   | 20                   | △ 44       | 31.1         | 燃料油補助金等△44                              |
| 経 常 損 益     | △ 163                | 81                   | 245        | —            |                                         |
| 特 別 損 益     | 0                    | —                    | △ 0        | —            |                                         |
| 税引前中間純損益    | △ 163                | 81                   | 245        | —            |                                         |
| 法 人 税 等     | △ 27                 | 42                   | 69         | —            |                                         |
| 中 間 純 損 益   | △ 136                | 39                   | 175        | —            |                                         |

\* 2022年度中間決算は高速収入精算後に修正しております。

## 2. 比較貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切捨)

| 科 目             | 2022年度<br>第2四半期<br>A | 2023年度<br>第2四半期<br>B | 増減額<br>B-A | 主 な 増 減 事 由 等          |
|-----------------|----------------------|----------------------|------------|------------------------|
| 流 動 資 産         | 878                  | 952                  | 74         |                        |
| 現 金 ・ 預 金       | 31                   | 34                   | 2          |                        |
| 預 け 金           | 107                  | 173                  | 65         | CMSIによる預け金増            |
| 短 期 貸 付 金       | 450                  | 550                  | 100        | " 貸付金増                 |
| 未 収 運 賃         | 183                  | 166                  | △ 16       | 親会社、共同運行会社、委託発売業者等への債権 |
| そ の 他           | 106                  | 28                   | △ 77       | 未収金等                   |
| 固 定 資 産         | 730                  | 641                  | △ 88       |                        |
| 車 両 及 び 運 搬 具   | 422                  | 345                  | △ 77       | 既存車両減価償却による減           |
| そ の 他           | 307                  | 296                  | △ 11       | その他有形・無形固定資産減価償却等△11   |
| 資 産 合 計         | 1,608                | 1,594                | △ 14       |                        |
| 流 動 負 債         | 616                  | 637                  | 20         |                        |
| 未払金及び預り連絡運賃     | 310                  | 311                  | 1          |                        |
| 未 払 税 金         | 95                   | 65                   | △ 29       | 未払法人税、消費税等             |
| そ の 他           | 210                  | 259                  | 48         |                        |
| 固 定 負 債         | 548                  | 474                  | △ 73       | リース債務 △90、退職給付引当金等 17  |
| 負 債 合 計         | 1,165                | 1,111                | △ 53       |                        |
| 純 資 産 合 計       | 443                  | 482                  | 39         | 当期純利益 39               |
| 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 1,608                | 1,594                | △ 14       |                        |

\* 固定資産:車両及び運搬具にリース資産334百万円(19両)含む

## 2023 年 度 第 2 四 半 期 決 算 収 支 状 況

会社名 ジェイアール四国バス株式会社  
(単位:百万円、単位未満切捨)

| 項 目       | 2023年度<br>第2四半期決算 | 2022年度<br>第2四半期決算 | 増 減  | 対前期比  | 記 事                                        |
|-----------|-------------------|-------------------|------|-------|--------------------------------------------|
| 営 業 収 益   | 1,396             | 1,011             | 384  | 138.0 |                                            |
| 乗 合 収 入   | 1,356             | 973               | 382  | 139.2 |                                            |
| 一 般 線     | 32                | 27                | 4    | 117.0 |                                            |
| 高 速 線     | 1,324             | 946               | 377  | 139.9 | 京阪神便 254、島内 68、夜行便 28<br>広島便 17、岡山便 10     |
| 運 輸 雑 収 入 | 39                | 37                | 2    | 106.1 | 発売手数料 4、駐車場収入等 1<br>施設相互使用収入 △3            |
| 営 業 費 用   | 1,335             | 1,240             | 94   | 107.6 |                                            |
| 人 件 費     | 542               | 462               | 80   | 117.4 | 人単差 30、賞与・賞与引当 50                          |
| 動 力 費     | 178               | 187               | △ 9  | 95.1  | 軽油価格の単価差 △25(@141.38→<br>@123.71) 業務量差等 16 |
| 業 務 費     | 421               | 384               | 37   | 109.6 | 道路使用料 10、発売手数料 21<br>施設使用料等 6              |
| 修 繕 費     | 93                | 69                | 24   | 134.4 | 車両の修繕波動等                                   |
| 諸 税       | 8                 | 7                 | 0    | 109.3 |                                            |
| 減 価 償 却 費 | 89                | 128               | △ 39 | 69.5  | 営業用自動車償却費の減等△39                            |
| 営 業 損 益   | 60                | △ 229             | 290  | —     |                                            |
| 営 業 外 損 益 | 20                | 65                | △ 44 | 31.1  | 燃料油補助金等△44                                 |
| 経 常 損 益   | 81                | △ 163             | 245  | —     |                                            |
| 特 別 損 益   | —                 | 0                 | △ 0  | —     |                                            |
| 税引前中間純損益  | 81                | △ 163             | 245  | —     |                                            |
| 法 人 税 等   | 42                | △ 27              | 69   | —     |                                            |
| 中 間 純 損 益 | 39                | △ 136             | 175  | —     |                                            |

※2022年度中間決算は高速収入精算後に修正しております。

## 【参考資料】

## 2023年度第2四半期営業概況

## ○運輸収入

高速バス部門について、運休は高松～関空線、高知～北陸線、徳島～大阪線のＵＳＪ速達便（休日のみ１便）となり計画運行便数２２、１３４便のうち２１、６１６便（９８％、前年は８２％）の運行（続行便、障害運休含む）となりました。続行便は、京阪神線を中心に１９８便（前年１９４便）を運行しました。

その結果収入は対前年３７７百万円増の１３９％でしたが対２０１９年では▲５４７百万円の７１％でした。

なお、高知～北陸線は本年１１月末で廃止を決定しています。

ローカル部門の収入は対前年１１７％の３２百万円でした。（対２０１９年は７７％）

## ○高速バス輸送人員（便当たり人員）

便当たりの人員は、京阪神系統では香川が対前年１１０％、徳島が同１４７％、高知が同１１３％、愛媛が同１１８％、岡山系統が対前年１２４％、広島が同１３４％、四国島内が同１２９％、東京が同１４６％名古屋が同１２４％であり、全系統で前年を上回り（本年全体１６．０人前年１２．６人１２７％）ましたが２０１９年の全体便当たり１７．６人に対しては９１％でした。

## ◎運輸収入

(単位：百万円、％)

| 輸 送 別   | 第２－四半期累計 |     |      |       |        |
|---------|----------|-----|------|-------|--------|
|         | 本 年      | 前 年 | 対 比  | 計画    | 計画比    |
| 高 速     | 1,324    | 946 | 139% | 1,210 | 109.4% |
| ロ ー カ ル | 32       | 27  | 117% | 28    | 115.4% |
| 合 計     | 1,356    | 974 | 139% | 1,238 | 109.5% |

## ○高速バス収入内訳

(単位：百万円、人)

|                   |              | 第２－四半期累計 |     |      | 便当人員（第２－四半期累計） |      |      |
|-------------------|--------------|----------|-----|------|----------------|------|------|
|                   |              | 本年       | 前年  | 前年比  | 本年             | 前年   | 前年比  |
| 高松<br>EXP         | 高松～大阪        | 115      | 82  | 140% | 17.2           | 16.6 | 104% |
|                   | 高松～神戸        | 56       | 49  | 114% | 14.6           | 13.2 | 111% |
|                   | 高松～京都        | 44       | 36  | 123% | 15.3           | 12.3 | 124% |
|                   | 高松EXP計       | 215      | 167 | 129% | 16.0           | 14.7 | 109% |
| 観音寺EXP            | 観音寺・坂出～神戸・大阪 | 41       | 29  | 142% | 14.9           | 12.4 | 120% |
|                   | 香川～京阪神計      | 256      | 195 | 131% | 16.0           | 14.5 | 110% |
|                   | 高松～関空        | 0        | 0   | －    | －              | －    | －    |
| 阿波<br>EXP         | 徳島～大阪        | 131      | 62  | 211% | 17.7           | 11.0 | 161% |
|                   | 徳島～神戸        | 115      | 75  | 154% | 19.7           | 13.6 | 145% |
|                   | 徳島～京都        | 41       | 32  | 130% | 16.6           | 13.1 | 127% |
|                   | 阿波EXP計       | 287      | 168 | 170% | 18.2           | 12.4 | 147% |
| 高知EXP             | 須崎・高知～京阪神    | 259      | 216 | 120% | 18.0           | 16.0 | 113% |
| 松山EXP             | 松山～京阪神       | 181      | 149 | 122% | 16.7           | 14.1 | 118% |
| 岡 山               | 高知～岡山        | 20       | 15  | 138% | 16.1           | 13.1 | 123% |
|                   | 松山～岡山        | 18       | 13  | 137% | 12.3           | 9.8  | 126% |
|                   | 岡山計          | 38       | 28  | 137% | 14.4           | 11.6 | 124% |
|                   | 高松～広島        | 35       | 19  | 189% | 15.4           | 11.5 | 134% |
| 四 国<br>島 内        | 高松～高知        | 43       | 30  | 141% | 12.3           | 9.5  | 129% |
|                   | 高松～松山        | 59       | 42  | 141% | 11.0           | 8.7  | 126% |
|                   | 徳島～松山        | 32       | 24  | 130% | 12.1           | 9.6  | 126% |
|                   | 徳島～高知        | 13       | 10  | 134% | 11.5           | 9.2  | 125% |
|                   | 松山～高知        | 73       | 45  | 162% | 15.0           | 10.8 | 139% |
|                   | 四国島内計        | 219      | 151 | 145% | 12.1           | 9.4  | 129% |
| 東京<br>北・<br>陸・名古屋 | 阿南・徳島～東京     | 25       | 14  | 184% | 24.6           | 16.9 | 146% |
|                   | 松山・高松・徳島～名古屋 | 24       | 6   | 372% | 20.7           | 16.7 | 124% |
|                   | 高知・高松・徳島～北陸  | 0        | 0   | －    | －              | －    | －    |
|                   | 東京・名古屋・北陸計   | 49       | 20  | 243% | 22.2           | 16.8 | 132% |